

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和4年6月23日（木）15時00分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

星上席技術研究調査官、木原室長補佐、佐藤（雄）管理官補佐、佐藤（匡）  
室長補佐

原子力安全人材育成センター 上ノ内教官

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）

廃炉安全・品質室 担当者1名

プロジェクトマネジメント室 担当者1名

燃料デブリ取り出しPG部 担当者6名

#### 5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、東京電力福島第一原子力発電所において実施される工事・作業の概要及び進捗状況、東京電力による事故分析に係る業務の内容等について、資料に基づき説明があった。

原子力規制庁から、資料「事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト」等に挙げられている個別の項目について作業進捗や今後の予定等を確認した。

また、別資料にて説明があった「1号機CS(A)系テストライン他の配管表面線量の測定結果」に関して、原子力規制庁から事故分析に関して高線量箇所の確認及び(B)系も同様に高い線量が確認されているか、また安全の観点から当該測定箇所には水素は確認されなかったか等、技術的な内容を確認し、東京電力から、本件は現場の状況を確認するためまずは線量測定を実施したものであり、詳細については今後の調査による旨の回答があった。

原子力規制庁より、事故の調査・分析に関して今後も連携して取り組むためにも、工事・作業の進捗等については引き続き情報を共有してもらうよう依頼し、東京電力より了解した旨の回答があった。

#### 6. 資料

- 事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト
- 1号機CS(A)系テストライン他の配管表面線量の測定結果について
- 事故の分析のために実施する業務（2021年度分／2022年度分）

以上